

## 中国自然歩道 中国自然歩道 川床～一向平

### 大山滝

神話の神々の住む場所として古代から水音を響かせる大山滝は、大山で主要の滝だ。加勢蛇川で合流する天狗が峰と烏ヶ山山頂の源流が流れ込んでいる。高さ 42 メートルの二段滝である。それぞれの段の間は特に丈夫な火山岩の層から成り、強力な滝の浸食に耐えている。1990 年に大山滝は日本の滝百選のひとつに指定された。

### 大山

中国地方の最高峰である大山は高さ海拔 1,729 メートルで、近隣の海岸から印象的な姿が見える。その険しい北側の面には、弥山（1709 m）から、東に剣ヶ峰（1729 m）、天狗が峰（1710 m）の山頂、そして三鈷峰（1516 m）で終わる 2 キロメートルの断崖絶壁が続く。北壁の谷の曲線は深く、その外観から屏風と呼ばれている。稜線の最高地点である山頂には、夏の間中雪が残っていることが多い。

### 大休峠

大休峠を通るこの 9 キロメートルの歩道区域は、歴史的に大山寺へとつながっていた 四つの道のうちのひとつである旧川床登山道の一部と合体している。仏教の秘密宗である真言宗が平安時代（794 年 - 1185 年）に盛んであった頃、川床登山道は（倉吉の東にある）三徳山の真言宗寺と、大山にある真言宗の大修行所間の主要道路だった。続く数世紀の間、大山寺は栄華を極め、川床登山道には頻繁な往来があった。作られてから 400 年経つ石畳は、今も道の形状を残している。

### 船上山

大山の火山周辺に沿って北側に位置する船上山（615 m）は、重要な部分を持つ低い山だ。真言宗全盛期の間、「伯耆三山」のひとつとして三徳山と大山とともに佇む船上山は、密教を実践する集団の中心的な聖地であった。

後醍醐天皇が隠岐島への流刑から 1333 年に脱出した後に、船上山の頂上で拳兵し、将軍勢力に対抗し、天皇の主権を取り戻した。

### 鮎返りの滝（Ayugaeri Falls）

大山滝つり橋の真下にあるのは鮎返りの滝（Ayugaeri Falls）だ。鮎は春になると清流を登ってくるが、流れの激しくこの滝より上には泳いでいけないと信じられていたことが「鮎返り」という名前の由来となっている。

### 大山の植物と野生動物

標高 800 メートルから 1,400 メートルの大山を、西日本最大級の古いブナ原生林が取り囲んでいる。ブナが森の 50 - 60% を占めており、残りはミズナラ、イタヤカエデ、ヤマヤナギなどである。林床はクロモジ、大亀の木などの低木で覆われ、100 種類以上の鳥たちに食料と住処を与えてくれる。

1,400 メートルを超えると、高い木は背の低い木や高山植物に変わる。それらの花は、絶滅危惧種を含む 120 種類以上の蝶を惹きつける。頂上の近くには 8 ヘクタールのイチイ林があり、この種の低木では日本最大のため特別天然記念物となっている。